

日本信頼性学会
第26回春季信頼性シンポジウムプログラム

日時：2018年6月4日（月）10:00～19:30
場所：一般財団法人日本科学技術連盟 東高円寺ビル

2018.4.4現在
(敬称略)

	第1会場（地下1階講堂）	第2会場（3階A室）
10:00～11:30	第39回年次総会	—
11:30～12:30	昼食	昼食
12:30～14:00	【特別講演】学校では、安全学をどう教えるべきか？ ～安全学の視点からの安全教育～ 向殿 政男 氏（明治大学名誉教授） 司会：島添敏之（㈱京三製作所）	
14:00～14:10	休憩	休憩
	セッション1 （進化する電子部品・機器の信頼性評価技術とその活用（1）） 司会：土屋英晴（信頼性コンサルタント）	セッション4 （試験、故障解析、部品、要素技術の信頼性、ハードウェア面） 司会：島添敏之（㈱京三製作所）
14:10～14:35	故障物性研究会の活動 ○味岡恒夫 土屋英晴	HALTにおけるストレスの効果その4 ランダム振動試験との比較 Raphael Pihet, 平田拓哉, 河合秀己, 青木雄一（エスベック㈱）
14:35～15:00	セラミックチップ部品のクラック解析技術 ○斎藤 彰（㈱村田製作所）	熱衝撃試験における供試サンプル内温度分布の影響について ○仲田祐希, 山田敏行, 鈴木浩一, 新藤浩之（(国研)宇宙航空研究開発機構）
15:00～15:25	IGBT 静電気破壊品の解析手法とその適用事例 ○金子卓史, 藁丸 昇, 神田隆行, 池本 裕, 土屋英晴（㈱クオルテック）	FMEA/FTAの実態の課題と提言—FTAの勧め— ○柴田義文（安信経営工学研究所）, 長谷部光雄（noppo技研）, 松岡敏成（機能の安定性と安全研究会）
15:25～15:35	休憩	休憩
	セッション2 （進化する電子部品・機器の信頼性評価技術とその活用（2）） 司会：土屋英晴（信頼性コンサルタント）	セッション5 （日本オペレーションズ・リサーチ学会 システム信頼性研究部会による オーガナイズドセッション） 司会：木村光宏（法政大学）
15:35～16:00	IoTを活用した放送所設備管理の取組み ○影井誠一郎（日本放送協会）	2状態に分割されるネットワークシステムの最適設計に関する研究 ○村島 慶洋, 山本 久志, 肖霄, 秋葉 知昭
16:00～16:25	車載機器の信頼性評価試験（環境試験） ○今井康雄（沖エンジニアリング㈱）	車載ネットワークCANの評価に関する考察 ○ 佐藤諒平, 福本聡, 大原衛
16:25～16:50	Air-HASTによる加速試験とその事例 ○青木雄一, 鈴木 聡（エスベック㈱）	Reliability analysis of a correlated shock model by using Hawkes process ○ 太田修平, 木村光宏
16:50～17:15	設計ツールとしてのHALT（Highly Accelerated Limit Test）の活用例紹介 ○松井慶輔（ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ㈱）	ソフトウェア信頼性評価の時間スケールについて 趙 雲路, ○ 土肥 正, 岡村 寛之
17:15～17:25	休憩	休憩
	セッション3 システムの保全性・安全性 司会：岩田浩司（(公財)鉄道総合技術研究所）	セッション6 データ収集・解析 司会：高橋 聖（日本大学）
17:25～17:50	予告時間の短縮による踏切鳴動後の進入抑止効果の実験結果 ○錦木俊暁, 羽山和紀, 畠山 直, 村越暁子, 宮地由芽子（(公財)鉄道総合技術研究所）	Gabor特徴による電子データの手書き署名 ○内村俊二（第一工業大学）, 村岡哲也（元第一工業大学）, 池田弘明（元静岡大学）
17:50～18:15	ニューラルネットワークによる軌道回路の状態基準保全に関する考察（その1） ○志田 洋（西日本旅客鉄道㈱）, 田村晃裕, 二宮 崇, 高橋 寛（愛媛大学大学院）	人体に帯電した静電気の除電に関する研究—静電吸着したPM2.5や花粉の着脱状況の可視化— ○村岡哲也（元第一工業大学）, 原川清仁（㈱マルタカテクノ）
18:20～19:30	情報交換会（5階研修室）	

*発表タイトルの変更は報文集にて訂正します。司会者は変更する場合があります。